

金沢市中心部のにぎわい創出に貢献しています

# 空間デザイン研究：アクティビティを創発させる可変型空間装置と感性情報の共働



## ●プロジェクト代表者

川崎 寧史 (環境・建築学部 建築デザイン学科 教授)

## ●プロジェクトメンバー

土田 義郎 (環境・建築学部 建築学科 教授)

西村 督 (環境・建築学部 建築学科 教授)

出原 立子 (情報フロンティア学部 メディア情報学科 准教授)

池永 訓昭 (工学部 電気電子工学科 講師)

加藤 未佳 (環境・建築学部 建築学科 講師)

桜井 将人 (情報フロンティア学部 メディア情報学科 講師)

高杉 敬吾 (工学部 機械工学科 講師)

## 都市アクティビティの創出を目指す

金沢中心部に人を呼び込む都市アクティビティの創出を目的としたプロジェクトです。照明や映像・音響を用いた空間造形と視覚メディアによる感性情報を共働させ、都市における体感型のデザイン空間の演出を実施しています。近年、注目されるプロジェクションマッピングなども実施し、高く評価されています。

「月見光路」や「タテマチアート」、夜の賑わい創出事業(JR金沢駅前広場)などの活動基盤があり、地域・産官学連携、デザイン開発、技術連携、実施ノウハウなどの面で多大な蓄積を有しています。また「月見光路」は、平成25年度に10周年を迎え、その運営母体である月見光路実行委員会が金沢市文化活動賞を受賞するなど、地域社会からも高く評価されています。

今後は、これらの事業の有機的なつながりや市民の積極的な参画を促す仕組みの構築等を実施し、都市アクティビティの創出を目指してまいります。



## 新幹線開業効果を最大限に引き出すために

これらの事業により、金沢市企画調整課・クラフト政策振興課・市街地再生課・景観政策課と強固な連携推進の結びつきができており、さらに、月見光路実行委員会、広坂振興会、堅町商店街振興組合、金沢中心商店街まちづくり協議会(5タウンズ)、金沢駅通り線周辺まちづくり協議会、NPO法人趣都金澤、公益社団法人金沢青年会議所などの地域組織とも緊密で深い関係を築いています。

公共施設では、石川県政記念しいのき迎賓館、金沢21世紀美術館、金沢能楽美術館、JR金沢駅前もてなしドーム広場などから空間提供や協力をいただいております、新たな連携企画の実施も可能です。

今後は、企業の技術と連携した高付加価値あかりのオブジェの開発や、企業プロダクトを活用した夜間景観形成の社会実験等、民間企業との産学連携を強化することを計画しています。

2015年春の北陸新幹線金沢駅開業を見据え、開業後の

誘客効果の持続も視野に入れる本プロジェクトは、にぎわい創出による地域貢献も大であり、多くの地域の皆様の参画をお願いいたたく存じます。

